

広報

# 鳥海の里

題字 開成指導課あじさい寮 宇佐美 清枝

第109号

発行 秋田県心身障害者コロニー  
保護者会

◆平成13年1月15日

秋田県由利郡西目町出戸字孫七山  
TEL (0184) 33-2255 FAX (0184) 33-2044

ホームページアドレス <http://www.ocn.ne.jp/~acolony/> メールアドレス colony@jeans.ocn.ne.jp



1月7日、書道教室で加賀雲峰先生のご指導により書き初めが行われました。開成指導課かえで寮の沢口金男さんとあじさい寮の工藤君子さんが力強く書いてくれました。

## 主な内容

- \*年頭の挨拶 ..... 2
- \*コロニー研究発表会 ..... 3
- \*年末楽しみ会 ..... 4
- \*地域との交流会 ..... 5
- \*ミレニアム2000 ..... 6



二十一世紀のキーワードは「自己決定」「自己責任」だと言われている。二十世紀の経済成長は、多くの繁栄をもたらした反面、国も地方も、膨大な借金という負の遺産を二十一世紀に引き継いでしまった。

二十一世紀は、これまでの行政丸抱え的な手法から、国民に自立心を促す行政スタンスとならざるを得ず、曰く、競争原理の導入であり、自己決定、自己責任の原則だといわれ、福祉も又、聖域としないとして社会福祉基礎構造改革が二〇〇三年から施行されるのである。このことは生活弱者といわれる人々にとっては、大変厳しい社会の到来と受けとめられ、特に障害を持つ我子や、我々の兄弟姉妹は大丈夫なのかと危惧する保護者の声の高まりとなっています。勿論、成年後見制度や、相談事業の制度化等、対応策が考えられていますが、それだけで充分でないことは論をまたないところです。

ところで、去る十二月コロニーの研究発表会に出席したが、そこで感じたのは社会福祉基礎構造改革を前提とした研究がすでに真剣に始められており、成果となつて現れてきているということでした。特に印象深かつたことは、コロニー利用者の自治会組織が作られ、リーダーが選挙で選ばれ、自主運営されていること、町へ出かけたいという利用者のニーズに応えるた



## 社会福祉基礎構造改革のめざすもの

保護者会会長 田口良一

め、綿密な計画と訓練を積み重ねて、念願の自分達だけで町へ出かけ、レストランで食事をし、買物を楽しんでいる様子が生き生きとスライドに写し出され、保護者に大きな感動を与えたことをしました。この研究成果がコロニー利用者のすべての人とはいえないまでも、日常の基礎的訓練を繰り返すことにより、少しの援助があれば、少しの社会的な理解と協力があれば、社会生活ができることを証明したものとして、高く評価されるものと思いますし、これから彼等が向う、「自己決定」「自己責任」という社会に向けた厳しいトレーニングがすでに始まっていることを強く印象づけられました。

できないことはやらせないと、保護するだけの福祉から、能力を引き出して、人間としての生きがいを求めて行くというこれからの中の福祉の方向を示唆するものと受け止めましたし、社会福祉基礎構造改革の理念が理解できたように思いました。

人間が自立し向上して行くには必ず挫折と痛みが伴います。この挫折と痛みを共有し、心で涙しても叱咤激励し続けることが保護者の役割であり、この保護者の気持ちを代弁し社会に伝えていくのが保護者会であると認識しております。新世紀にあたり、尚一層のご指導ご協力を願いし年頭のご挨拶と致します。



監  
事

顧  
問  
副  
会  
長  
理  
事

佐細	金近	伊高	岡	北	黒	相	菅	小浜	須藤	鈴	田	小	日	田
渡	田	子	藤	藤	木	木	木	木	藤	木	口	嶋	林	口
顕文	英	利	怜	喜	哲	利	貞	三	妙	重	優	勝	志	志
一夫	潔	繁	昭	子	郎	朗	治	力	崇	徳	優	勝	七	博
								幸	徳	良	良	亮	雄	友

## 平成十二年度 コロニー研究発表会

銀杏指導課保護者

濱田妙子

白光指導課保護者  
金子潔

平成十二年度の研究発表会が、十二月十三日、コロニーで行なわれ、今回で二十六回目の開催となりました。当日は田口保護者会長を始め役員十二名、水林通勤寮長他職員一名、コロニー職員九十九名の参加の中、三指導課から高齢者棟における食事の援助、自治会活動、外出の自主的活動についてそれぞれの取り組みが発表されました。その後、秋田県福祉保健研修センター次長 寒川井一氏より、講評および研究のまとめ方など多くの助言をいただきました。このあと特別養護老人ホーム「扇寿苑」生活相談員荒谷博美氏より「ケアマネジメントの検証」と題した講演があり、介護保険の運用とケアマネジメントの本質に関する内容に大きな感銘を受け、会を閉じました。

特に印象に残った口腔ケアへの取り組みは平成九年度と十二年度を比較すると普通食が減り、刻み食が増加。咀嚼・嚥下機能が低下しているのではないかと、咀嚼運動を取り入れ、職員・医師・歯科衛生士が三者一体となり口腔ケアをすることで、覚醒効果があり、誤嚥しやすい人は肺炎予防効果にもなり、また口腔ケアと口腔体操を取り入れたことで、食べ物の味が分かった人や、口の運動動作の一つとして「大きな声を出す」ことで楽しみも出て生活に潤いが出ているそつです。

研究二「なかよし会」では、十一年四月から発足されているようで、自治会活動が容易に進められている様子を見て感動しました。自立に向けての支援活動を実践している職員の方々には感謝の気持ちで一杯です。

研究二「なかよし会」では、十一年四月から発足されているようで、自治会活動が容易に進められている様子を見て感動しました。自立に向けての支援活動を実践している職員の方々には感謝の気持ちで一杯です。

### 研究発表の内容

研究一 「高齢者棟における食事の援助について」  
～口腔ケアへの取り組み～

創生指導課 主事 三浦智幸

研究二 「自治会活動（なかよし会）への取り組み」  
銀杏指導課 主事 須田真理子

研究三 「自分達で街へ出かけよう」  
～障害の重い人達の自主的活動を目指して～

白光指導課 主任 古田俊之

あとの二題も特徴のある中身の濃い演題でした。

職員の方々の熱意・努力に感謝申し上げますと共に、今年で二十六回を迎えたこの研究会がさらに継続発展されますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 保護者の感想

研究発表会当日はおだやかで体育館内は暖かく、なごやかな気分で聞くことができました。管理者挨拶に始まり、三人の職員が発表されました。それぞれのテーマを的確に把握しながら、質疑応答が行われました。

三指導課より発表があり各課それぞれスライドを使い分かりやすい説明がありました。

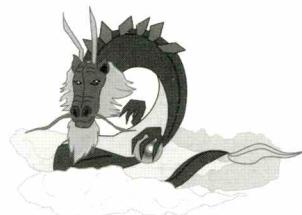
研究一「口腔ケアの取り組み」では楽しい食事をするために洗浄清拭を行し、口腔機能訓練がスマートに出来るよう、くわしく図で示していました。高齢化社会での食事ケアは私達親にとつてもためになりますので資料を読み返してみたいと思っています。

研究二「なかよし会」では、十一年四月から発足されているようで、自治会活動が容易に進められている様子を見て感動しました。自立に向けての支援活動を実践している職員の方々には感謝の気持ちで一杯です。

研究三「自分達で街へ出かけよう」では自分達で行動し電話のかけ方や外出時のマナー等生活技能訓練を無理せず、何度も繰り返しながら懸命に努力をしている姿が印象的でした。障害の有無にかかわらず皆さんが普通に生きる努力を私達保護者も実践していかなければと思います。終りになりましたが、職員の方々の数々の御労苦に感謝申し上げ、今後とも御指導御援助をお願いします。

# 年末 楽しみ会

笑った 笑った



## サンタさんが利用者に インタビュー

2000年の反省と  
21世紀への抱負

開成指導課  
さくら・あやめ寮



去る十二月、各指導課・寮において年末楽しみ会が実施されました。家族との交流を楽しんだり、カラオケやゲーム、懐かしのビデオ鑑賞会などそれぞれ工夫を凝らした催しが行われ、二十世紀の終わりを存分に楽しみました。

食べて  
いいですか？



銀杏・はまなす寮のみんなで

# 西目小学校 幼稚園との 交流会



西目小四年生全員からメッセージが贈されました。



楽しかったね、ありがとう。

去る十月十七日、西目幼稚園の皆さんをコロニーに招き、白光指導課の利用者と二回目の交流会を行いました。前回はコロニーで幼稚園を訪問しているため、和やかな雰囲気のなか、手話を交えた歌か踊り、大玉転がしやボール遊びなど楽しいひとときを過ごしました。最後に園児一人一人から、園児たちが収穫したお米が手渡されました。

また、十一月二十一日には西目小学校四年生の代表と担任の先生が赤光指導課に訪れ、皆さんで収穫したお米と、寄せ書きをプレゼントしてくれました。西目小学校とは、四年生を対象に平成九年から交流が続けられています。



私の手…本当に切れない？

## 不思議なふしぎな マジックショー

12月9日、大内町堀脩氏のご好意により、白光指導課食堂でマジックショーが披露され、指先のトリックに魅了されたひとときを過ごしました。



お・み・ご・と！  
間近に見る手品に歓声が上がる



–利用者からひと言–  
とてもびっくりしたけどおもしろかった。  
また来てほしいです。

# Millennium 2000



銀杏指導課けやき・はまなす寮では職員有志による即席音楽会が催されました。



コロニー西公園に飾られたイルミネーション。利用者の皆さんもしばらく足を止めてウットリと見つめていました。

おめでとう!!

**「県知事賞」受賞**  
 開成指導課 あやめ寮

▶作品を身につけて 笑顔を見せる  
 菊地力子さん

平成十二年度の障害者福祉展  
 において、開成指導課あやめ寮  
 菊地力子さんの刺し子(上着)  
 が、県知事賞を受賞しました。  
 これは、毎日の作業や余暇を利  
 用し、一針一針丁寧に仕上げた  
 ものです。

「縫う事が私の生きがい。何よ  
 りも好きな仕事。」と自身も言  
 う様に、その若々しい情熱には  
 感心するばかりです。今回の受  
 賞を励みとし、益々の活躍を期  
 待しております。おめでとうござ  
 います。

『入所』十二月一日付  
 銀杏指導課けやき寮  
 下山 博正さん(大曲市出身)

銀杏指導課からまつ寮  
 佐々木久雄さん  
 十二月一日付

銀杏指導課からまつ寮へ  
 高橋 正己さん  
 白光指導課からまつ寮へ

◇利用者  
 かつら寮 菅原雪雄さん(四十九才)  
 ◇保護者  
 はまなす寮 菅原ユリ子さん  
 こすもす寮 ユキ子さん  
 けやき寮 三浦正哉さんの保護者  
 かえで寮 工藤守利さんの母  
 ツキさん 定路さん

善意

平鹿町 菅原 克巳さん  
 (故菅原雪雄さんの保護者)  
 ご芳志に感謝申し上げます

◇利用者の動き  
 『移動』

銀杏指導課からまつ寮  
 佐々木久雄さん  
 十二月一日付

銀杏指導課からまつ寮へ  
 高橋 正己さん  
 白光指導課からまつ寮へ

◇利用者  
 かつら寮 菅原雪雄さん(四十九才)  
 ◇保護者  
 はまなす寮 菅原ユリ子さん  
 こすもす寮 ユキ子さん  
 けやき寮 三浦正哉さんの保護者  
 かえで寮 工藤守利さんの母  
 ツキさん 定路さん

◇利用者  
 かつら寮 菅原雪雄さん(四十九才)  
 ◇保護者  
 はまなす寮 菅原ユリ子さん  
 こすもす寮 ユキ子さん  
 けやき寮 三浦正哉さんの保護者  
 かえで寮 工藤守利さんの母  
 ツキさん 定路さん